

平成24年度
実施事業

事務事業名 市営住宅（柏木団地）大規模改修事業

区分	No	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
小分類	3	快適な公営住宅の供給
主要な施策	1	①公営住宅の計画的な改修整備
事務事業番号	028	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 27 年度 会計種別 一般会計

部名 都市整備部 グループ名 建築住宅グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

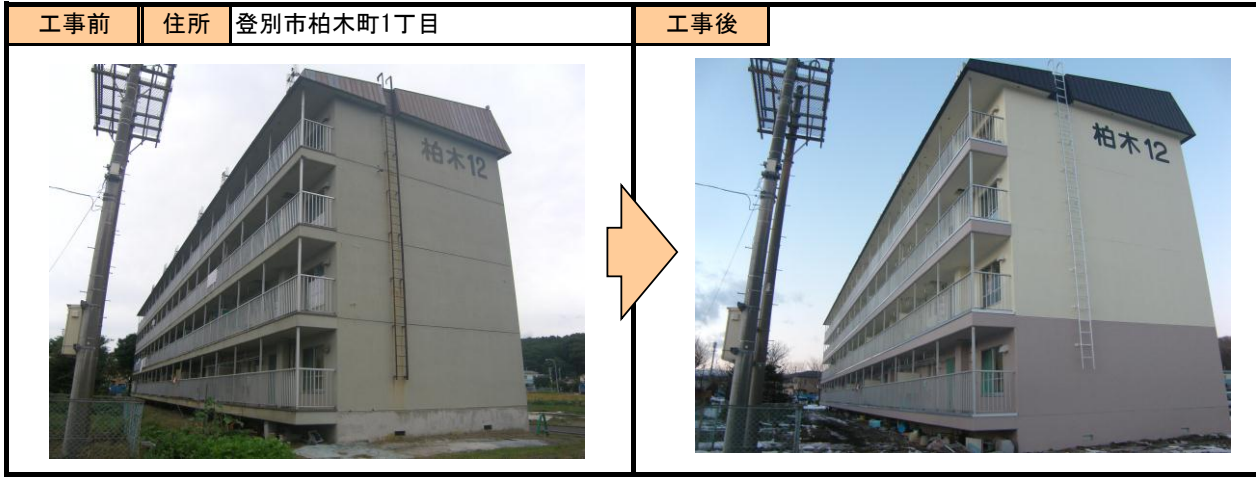
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 外壁塗装や屋根葺替等の外部改修を実施することにより、既設市営住宅の安全性の確保及び長寿命化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 既設市営住宅柏木団地 1 2 棟の外壁塗装や屋上防水等の外部改修 【事業実績】 ・ 柏木団地 3 棟の外壁下地改修、外壁塗装、屋根葺替
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 計画に基づき継続して円滑に実施できるように予算化に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要領、登別市営住宅等長寿命化計画

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称 社会資本整備総合交付金	千円	14,466	32,463	33,750	33,823	35,294
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円	10,100	48,400	51,700	41,300	43,100
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円	2	9	50	41	38
事業費 合計		24,568	80,872	85,500	75,164	78,432

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	
成果指標	① 改修棟数	棟	目標値	1	3	3	2	2
		実績値		1	3			
	②	棟	目標値					
		実績値						



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 建物所有者である市が実施主体となつて、適正な維持管理の観点から改修すべきである。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 耐用年数が相当あり、今後も長年に市営住宅として提供するため、長寿命化を目指し、改修事業を計画的に行う必要がある。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input checked="" type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 事業について、国庫補助事業や有利な起債を有効活用できる。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input checked="" type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 改修されることにより、建築物の躯体の長寿命化が図れるとともに、入居者は、安全・安心な生活を送ることができる。

①担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	団地全体に建物の老朽化が著しいため、継続して改修事業を計画的に進める必要がある。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）